

2023年度(基準年)
GHG排出量報告書

大成化工株式会社（本社：大阪府茨木市、代表取締役社長：白石 保行）は、
 当社および関連会社の2030年温室効果ガス削減目標について、
 「SBTイニシアティブ」より短期目標（Near-term Targets）の認定を取得しました

区分	2030年度目標
Scope1+2 ^{※1}	総排出量を42%削減(対2023年度比)
Scope3 ^{※2}	総排出量を25%削減(対2023年度比)



SCIENCE
 BASED
 TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

当社は、地球規模での環境保全を重要な課題と捉えており、医薬品用一次包装容器 化粧品用包装容器
 医療機器の開発・製造・販売を通じて、地球環境および人々の生活環境に配慮し、持続可能な社会の実現を
 目指すことを環境基本方針として掲げています。

今回のSBT認定取得を契機として、自社の温室効果ガス排出量削減に一層取り組むとともに、サプライヤーや
 顧客と協働し、より持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

※1 Scope1:直接排出(燃料等) Scope2:間接排出(電力など) 削減目標は1.5℃目標

※2 Scope3:サプライチェーン排出量(Category1~7,10,12,15該当) 削減目標はWB2.0℃目標

大成化工株式会社、関連会社は地球温暖化対策の為、GHG排出量の削減を行います。
2025年12月にSBTに短期目標が承認され、今後も削減に向けた取り組みに力を入れていく予定です。

区分		カテゴリ	2023年度	算出方法
Scope1	直接排出量	自社での燃料の使用や工業プロセスによる直接排出	1,126.12 tCO ₂ eq	利用したガス、ガソリン等の使用量より算定
Scope2	間接排出量 マーケットベース	自社が購入した電気・熱の使用に伴う間接排出	16,699.68 tCO ₂ eq	購入した電気使用量より算定
Scope3	購入した製品・サービス	原材料・部品、仕入商品、販売に関わるあらゆる資材等が製造されるまでの活動に伴う排出量	62,711.03 tCO ₂ eq	購入した各種品目の購入金額より算定
	Scope1,2 に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	他社からの調達している燃料調達、電気や熱などの発電等に必要燃料の調達に伴う排出量	4,265.83 tCO ₂ eq	購入電気量より算定
	輸送、配送（上流）	①報告対象年度に購入した製品・サービスのサプライヤーから自社への物流（輸送、荷役、保管）に伴う排出 ②報告対象年度に購入した①以外の物流サービス（輸送、荷役、保管）に伴う排出（自社が費用負担している物流に伴う排出）	5,531.45 tCO ₂ eq	原材料の物流は購入金額からの想定値 下流製品は重量と距離、および運賃にて算定
	事業から出る廃棄物	自社で発生した廃棄物の輸送、処理に伴う排出	628.50 tCO ₂ eq	廃棄物、リサイクル排出量より算定
	出張	従業員の出張に伴う排出	78.97 tCO ₂ eq	従業員数より算定
	雇用者の通勤	従業員が事業所に通勤する際の移動に伴う排出	2,151.08 tCO ₂ eq	交通費支給額より算定
	販売した製品の加工	事業者による中間製品の加工に伴う排出	3,841.00 tCO ₂ eq	製品出荷重量より算定
	販売した製品の廃棄	使用者（消費者・事業者）による製品の廃棄時の処理に伴う排出	4,711.14 tCO ₂ eq	製品出荷重量より算定

※単位は「tCO₂eq」

※使用する排出係数は環境省発行：「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver.3.6）」を参照